

2学年通信 17号

舟入「配信」は続くよ どこまでも

2年生の皆さん元気にはしていますか。
自分を律し、規則正しい生活を送っていますか。

舟入高校では、次々と様々な立場から専用サイトにメッセージが配信されています。他の学校のことはよくわかりませんが、舟入高校は、他の学校に先駆けて積極的に発信しているはずですよ。1年生向けのものにも大変興味深いものがあります。あたかも、普段の授業やHRの様子をうかがい見ているようです。

こういうのを「けがの功名」と呼ぶのでしょうか。「ピンチをチャンスに」といってもよいかもしれません。

臨時の休業がしばらく続きはしますが、普段できないことが逆にできる機会にもなっているようです。知恵と工夫が試されているのかもしれません。先生方の個性あふれるメッセージをどうぞ楽しみにしててください。2学年担任団からも発信予定です。

休業が続く限り、どこまでも…… 私たちも「配信」に励みたいところです。

●新駅「^{たかなわ}高輪ゲートウェイ」開業に

先日14日(土)、JR東日本の新駅開業のニュースがありました。自粛要請の中ですから、恐らく当初の予定のように華々しくお披露目とはいかなかったと思います。それでも、不安や景気の悪い暗いニュースが続く中、明るいニュースとして受け止めました。そして、よく知らなかったことがたくさんあるなど改めて思いました。

9年前、東日本大震災が3月11日に起き、その翌日、静かに報道された「九州新幹線全線開通」の時と少し状況が似ていると当時を思い出したりもしました。

新駅について知り得たことを以下、何点かにまとめました。

- ① 駅のデザインを手がけたのは、建築家の※隈研吾(くまけんご)氏。
- ② 折り紙をモチーフにした「和」の空間を目指して作られている。木材もふんだんに使っている。
- ③ 駅構内には、AIを活用した警備ロボット、清掃ロボット、広告ロボットなども導入される。
- ④ 無人AI決済「タッチ トゥ ゴー(TOUCH TO GO)」が常設店として初めて誕生する。商品を手にとるだけでウォークスルーの買い物ができる。

- ⑤ 駅名は、一般公募で決定された。
「過去と未来」「日本と世界」「人と人」をつなぐ“結節点”として町全体の発展に寄与するという理由で選ばれた。
- ⑥ この駅を含む「品川エリア」は、2027年に開業を目指すりニアモーターカーのターミナル駅が品川に設置されるなど、大規模な再開発が計画されている。

※隈研吾氏が手がけた建築物と言えば、新国立競技場(東京オリンピックのメイン会場)が大変有名ですが、都内の大きな建物だけでなく、例えば太宰府天満宮表参道にあるスターバックス店なども隈氏が手がけたものです。

●卒業生の話は宝の山

進路決定のきっかけは地理の授業にあった

先日、京都大学工学部建築学科に合格した卒業生から興味深い話を聞きました。建築に進もうとしたきっかけが、高2の地理の授業にあったという話です。

地形図の授業で広島が話題になる。広島空港の立地に話が及ぶ。地理の先生が、たとえば、広島空港を市内に持っていきたい→それは都市計画の仕事になる→だったらディベロッパーがいちばんいい→みんな、将来はディベロッパーになってはどうか。……これが最初に建築に興味をもつきっかけになったそうです。

その卒業生は、もちろん先述の隈研吾氏のデザインした建築物についても勉強しているようでした。

ひとくちに「建築」といっても、「建造物」として工学的に捉える側面もあれば、都市全体の計画のなかに位置づけられ、歴史や文化的意味と切り離すこともできない面もあります。先の「高輪ゲートウェイ」の新駅のニュースも、「建築」が、そのように時代を象徴し、先導する役割を持つことをあらためて私たちに伝えてくれます。

卒業生が、授業からヒントを得たことはただの偶然だったように聞こえますが、何かを探し求めていたその人にしか、ヒントとして姿を現すことはなかっただろうと思います。

授業だけではありませんが、やはり、生きた世界で人と人がやりとりし、様々な領域が交差していく中で、皆さんは(私たちは)「感じる」ことが大切だと思います。

今、その当たり前ができない状況にありますが、かえって、学校の平凡に思える「授業」の意味や価値を再認識することができたと考えています。

そういう意味でも、この卒業生の話は、元気を与えてくれました。

(4組担任)